

青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会会議録

日時：令和３年５月２８日（金）午前９時３０分

場所：青梅市役所３階教育委員会会議室

１ 教育長あいさつ

２ 諮問

２件の重大事態の発生について報告し、青梅市いじめの防止に関する条例第２５条の規定にもとづき、青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会へ諮問する。

３ 議事

（１） 青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会規則の一部改正について

【説明】第５条第２項の一部改正により、調査部会の委員を幅広く選べるようにするためのものである。

（２） 青梅市のいじめ防止対策について

① 青梅市いじめ防止マニュアルの改訂について

【説明】マニュアル８ページに「青梅市いじめの防止に関する条例の一部改正について」を追加し、条例の施行から、一部改正された内容と主旨を説明している。

② 「いじめによる重大事態の判断について」について

【説明】毎学期、長期休業に入る前に相談先の電話番号を記載したものを、各家庭に配布している。裏面には「いじめによる重大事態の判断について」を印刷し、「『学校に行きたがらない』『友達とトラブルがあって休んでいる』というときには、学校、教育委員会、教育相談所に相談をしてください」という内容を周知している。

【委員】「いじめによる重大事態の判断について」のフローチャート図がわかりにくい。

【委員】国のガイドラインをイメージして読むとわかるが、一部わかりにくく、はっきりしたほうがよい。重大事態のメッセージがわかるよう説明文を工夫してはどうか。

【委員】学校はいじめが原因ではないとしても、言い切ってはいけない、本人や保護者の申立てがあったとしたら、いじめによる重大事態、疑いがあるという範疇に入ってくるという理解でよいか。

【委員】フローチャート図の主語が誰かわかりにくい。

【委員】「不登校」という表記があるが、30日を目途にしていると捉えてよいのか。それより早く対応することが大事であれば、それがわかる表現がよいのではないか。

【委員】「明日から絶対行かない」ということを言う場合は、すぐに対応する必要がある。

【事務局】わかりやすい表記、誤解のない表記に修正する。

③青梅市いじめ防止マニュアル「いじめゼロチェックリスト」の項目について

【説明】これまで、見直しがされていなかったため、改めて項目を確認し、今の状況にあった内容に変更をしたいと考えている。

【委員】「夜ぐっすりと眠れていない」という聞き方より、保護者からみて「十分に眠れていないようである」の方がよいと思う。「携帯電話」を「スマートフォン」に変更し、今の子供たちに伝わるようにした方がよい。

また、「決まったグループでいつも一緒にいる」というのは、良い意味か悪い意味か、どちらを意味しているのか。悪い意味であるならば、「本人の望まない友達、グループに付き合い合われている」という表現ではどうか。

【委員】「3 持ち物・お金」について、持ち物がよく壊れたり、無くなったりすることが増えた」があるとよいのではないか。

【委員】「おずおずと」という表現は「おどおどと」ではないか。

また、「死にたい」という表現をする子供もいるので、この表現がどうか、ということも含めて、記載するかどうか検討してほしい。

【委員】「死にたい」「遠くに行きたい」など、気になる言動がある、という表現があるといいのではないか。実際に、そういう内容で相談にくる保護者もいる。

【委員】チェックリストは、いじめられている側のチェックリストであるが、いじめている方も早めに発見する必要がある。その場合、それをどのように、このいじめチェックリストでいかしていけるのか、いじめていることに保護者が気づく部分があるといいと思う。いじめの関係は被害に焦点を当てることがあるが、いじめている側も早めに発見する必要があり、解決は早くなる。

【委員】いじめっ子の場合でも、ぼんやりしている、など、リストに当てはまることもある。

【委員】どこかに、いじめられている側、いじめている側、両方の目でみてもらえるようなことが書かれているとよいのではないか。いじめている側もストレスや、やるせない気持ちをもっている。

【委員】何項目あればピックアップするという基準はあるのか。

【事務局】保護者がこれをみて、学校に相談しやすいきっかけとなるようなリストに修正する必要がある。

【委員】先生と子供たちの関係として、データをみてみると、いじめられる側もいじめる側も、「学習がわからない」「勉強がわからない」など、授業に関する項目があるといい。

「保健室をよく利用する」に「相談室」を加えてはどうか。スクールカウンセラー制度が充実している東京都は、他県より相談している傾向にある。

【委員】以前と比べて、相談室が学校にあるのが当たり前であり、スクールカウンセラーに相談している。

【委員】最後に「お気づきの点があれば」とあるが、具体的な相談先が明確に書かれていたほうがよい。

【委員】相談先として、学校、教育委員会、関係機関などの連絡先を書いておいたほうがよい。

【委員】チェックリストは早期解決に必要なものである。保護者がみたときに、わかりやすいものにする必要がある。

【委員】「いじめゼロチェックリスト」のタイトルが、受け取る側として、保護者がやってみたい（チェックしたい）という表記であるとよい。

【委員】遅刻や早退が増えてきているというのも項目に入れてはどうか。

【委員】タイトルに、いじめを発見するもの、というメッセージがあるといいか。

【委員】保護者の力を借りていじめの早期発見をしたいということなので、「力をかしてください」というメッセージがあると、親の立場で、チェックしやすくなるかもしれない。

【委員】「いじめゼロ」はハードルが高いかもしれない。パッとやってみよう、早く発見したい、という気持ちになるような表現を探してほしい。

【委員】「気になることがあったらチェックしてください」というメッセージの方がよいのか。

【委員】いじめチェックリストであるが、非行に走っている子供にも当てはまるかもしれない。

【委員】冒頭に「気になることがあれば」ということ、また「ゼロ」よりも「ゼロを目指して」、という風に、柔らかな表現がよいかもしれない。

【委員】このチェックリストを保護者会で活用するなど、いろいろな使い方を検討してほしい。子供を見る一つの材料としてほしい。いじめは、予防、早期発見が大事である。

【事務局】様々なご意見をふまえ、チェックリストを見直し、改善を図る。

④ 青梅市いじめ防止強化月間実施要項について

【説明】令和３年度も、いじめ防止強化月間を実施し、アンケート調査等によるいじめの調査を行う予定である。令和２年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休業があったため件数は少なくなっている。

【委員】教員の子供の動きから変化を読み取る感性を高めることを、強化月間とあわせていく必要があるのではないか。また、校長会等でも話をして、周知して欲しい。

【委員】いじめ総合対策（改訂版）が全教員に配布されていると思われるので、それも活用して欲しい。教員が見れば、大事な点はすぐにわかるので、一度目をとおす、データとあわせて活用して欲しい。

【委員】小中の合計だけでなく、学年ごとなど、データをよくみて欲しい。数字の意味について、小学校の１０件と中学校の１０件は異なる。

（３） 重大事態に係る調査について【非公開】